

# 世界選手権大会2019 トルコ・アンタルヤ 大会を振り返って ～総括～

作成:山本広報

**JAPAN SPORT**  
COUNCIL

日本スポーツ振興センター

競技力向上事業

親松直人 《キャプテン》

所属:プリヂェストンスポーツアリーナテニスハウス浦和



## [成績]

男子シングルス	ベスト8
男子ダブルス	ベスト8
ミックスダブルス	3位 銅メダル獲得

初めに世界デフテニス選手権の戦績です。

シングルス ベスト8

ダブルス ベスト8

ミックスダブルス 銅メダル

ミックスダブルスのみ銅メダルを獲得しました！！前大会に引き続きメダルを獲りました。

今回の世界大会は非常に悔しさと不甲斐なさが残る大会でした。

シングルス準々決勝ではデフリンピックで優勝している選手と対戦し、自分の課題が浮き彫りとなった試合でした。

ダブルス準々決勝では自分達がリードしていたにも関わらず、大事な場面で取りきれなかったことが敗因でした。

しかし、確実にメダルを狙える位置に近づいていることも感じました。

次の世界大会はデフリンピックとなります。

デフリンピックまで約2年ありますが、練習とトレーニングを積み重ねて、更にレベルアップした自分でメダルを獲りに行きます。

今回も引き続きキャプテンを務めさせて頂きました。キャプテンらしいことはできてないと思いますが、後輩達がしっかりついてきてくれたこと嬉しく思います！

ダブルスのペアを組んでくれた笹島君、菰方さんありがとうございます。

また組むことが決まったら次こそは金メダルをとりましょう！！

そして何よりも2週間トルコで無事に過ごし、試合を全力で出し切ることが出来たのは、松下監督をはじめ、ドクターの笹島先生、トレーナーの佐野村先生、八田さん、手話通訳士の伊久美さんが懸命にサポートして頂いたので日本チームが良い戦績を残すことができ、また、大会に始まるまでの準備・応援をして頂いた森本理事長、梶野事務局、山本広報のお陰で、不安なく試合に集中することが出来ました！

また大会期間中、日本にいる皆様から応援のメッセージなど様々な形で応援をして頂いた皆様も本当にありがとうございました。

日本チームが良い戦績を残すことができましたのはサポートスタッフ、応援をして頂いた皆様のお陰です。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

最後になりますが、自分の目標はデフリンピックでメダル獲得を目指しているので、ここで終わらず、デフリンピックで更に強いJAPANを見せるように、練習とトレーニングを積み重ねて行きます。

これからもデフテニスJAPANを応援宜しくお願い致します！！

**笹島航太**  
所属: 京都産業大学3年



[成績]	
男子シングルス	ベスト16
男子ダブルス	ベスト8
ミックスダブルス	ベスト8

デフリンピック、国別対抗戦に続いて3度目の国際大会になりました。世界選手権では個人戦になるので、昨年メダルを取った国別対抗戦よりはるかにレベルは高くなると思っていました。予想通り、デフリンピックに近いレベルでした。しかし、予想外だったのは参加者が少なかったことです。参加者が少ないという事は、1回戦から強豪、シード権を持っている選手と当たる可能性が高くなるという事です。結果はシングルスベスト16、ダブルスベスト8、ミックスダブルスベスト8でした。シングルスでは、ドイツの選手に負けました。敗因としては、ラリーでのミスの差だと感じました。簡単なミスをしてくれないので、自分が無理をして攻めてミスをするパターンが多かったです。どの試合もそうですがミスが多かった方が負けるので、そのミスに対して反省をしつつ今後の練習に繋げていけたらと思います。ダブルスでは、昨年いとも簡単にやられたイギリスにあと一步で勝てるどころから逆転負けをしてしまいました。勝てる相手だったからこそプレッシャーに負けてしまったんだと思います。ミックスダブルスも同じで、後一つ二つのところで勝ち意識が強くなってしまって逆に力んでしまう状態になってしまいました。来年は国際大会が無く、空白の1年となりますがこの1年で自分の技術を見直して1から磨き直しつつ、精神的にも大きく強くなろうと思います。2年前のデフリンピックから課題を少しずつ潰せていると思うので、2年後のデフリンピックに向けて準備をしていきたいと思っています。サポート、応援して頂いた皆さん本当にありがとうございました。

**今井悠翔**  
所属: 京都産業大学2年



[成績]	
男子シングルス	1回戦敗退(コンソレ準優勝)
男子ダブルス	ベスト8
ミックスダブルス	ベスト8

10月12日から19日まで行われた世界デフテニス選手権に出場しました。去年の国際大会での経験を活かし、2週間戦い抜くことができました。結果はシングルス 1回戦敗退(コンソレ準優勝)、ダブルス ベスト8、ミックスダブルス ベスト8 でした。シングルスでは、体格が一回り大きいオーストリアのシード選手に負けました。終始、相手の攻めのテニスで後手後手の展開でしたが、緩急を使ったテニスで対抗することができたのは次につながるものだったと思います。他にも、コンソレでフランスやイギリスの選手とも試合をし、多くの経験を積むことができました。ダブルス、ミックスダブルスは共に準々決勝でドイツの選手に負けました。スコア的にはあまり競っていませんが、内容はどちらに転んでもおかしくないものでした。自分たちの持ち味を活かしたポイントを取ることはできましたが、重要な場面でそういったポイントを取ることができず、メンタルの脆さが出ていました。去年の課題としていた試合展開やサーブリターンは少しずつ改善しているように感じました。2年後のデフリンピックに向けて更に強化していきたいです。今回は、メダル争いに食い込むことができず、非常に悔しさが残るものでしたが、前回より自分の力が海外の思います。

選手達に通用してきていることをプラスにとらえて、2年後メダルを獲得できるようまた1から鍛錬していきたいと松下監督をはじめ、笹島ドクター、佐野村トレーナー、八田アシスタントトレーナー、伊久美さん、協会の皆様が、サポートをしてくださったことで、2週間という長い期間の中万全な状態で戦い抜くことができました。本当にありがとうございました！

**門根維吹**  
所属:大阪学院大学4年



[成績]	
男子シングルス	ベスト16
男子ダブルス	ベスト8
ミックスダブルス	ベスト8

皆さん、応援ありがとうございました。  
結果としては残念ながら、メダルを獲得することが出来ませんでした。  
初めての世界大会というプレッシャーをがかかり、いつも通りのプレーが出来なくなった部分もありました。  
メンタルの弱さ、技術不足ということを改めて自覚し、デフリンピックまでに一から磨き上げて、  
次こそ必ず金メダルを獲得します。

**喜多美結**  
所属:関西大学2年



[成績]	
女子シングルス	優勝 金メダル獲得
女子ダブルス	準優勝 銀メダル獲得
ミックスダブルス	ベスト8

先日出場しました世界デフテニス選手権大会ですが、女子シングルス優勝、女子ダブルス準優勝、  
ミックスダブルスベスト8という結果でした。日本とは時差が6時間もあるトルコでの開催でしたが、  
遠い地でもご声援を届けていただき、ありがとうございました。  
優勝することができ目標を達成することが出来ましたが、このような試合結果を得ることができ、  
試合でしっかり集中して自分のプレーができたのは、試合に帯同し、サポートをくださった  
最高のスタッフの皆さんのおかげでしかありません。松下監督、佐野村トレーナー、八田トレーナー、  
笹島ドクター、伊久美通訳士、本当にありがとうございました。  
去年の世界団体戦で負けた相手には負けないという気持ちで1年間練習に取り組んできて、  
サポートのおかげで今回の決勝で去年のリベンジを果たせた事が何より嬉しかったです。

私のデフテニスでの目的は、テニスを通して聴覚障害やその他の障害を持っている子供たちに希望や勇気を与え  
また、社会における聴覚障害者への理解を広めていく事です。  
デフリンピックまで約2年ありますが、デフリンピックでデフテニスが注目を浴びることが出来るように、  
今からデフテニスを広める活動を行っていきます。  
引き続き、ご指導とご声援をよろしくお願い致します。

**鈴木梨子**  
所属: 浦和学院高校2年



**[成績]**

女子シングルス	4位
女子ダブルス	優勝 金メダル獲得
ミックスダブルス	ベスト8
ユース女子シングルス	優勝 金メダル獲得

私は今回の世界デフテニス選手権で金メダルを2つとることができ、感じたことはここに来るまでたくさんの人の支えがあったということです。  
まず、何ヶ月も前から航空券・ホテルの手配、広報、私達選手の見えない所で支えて下さった梶野さん、山本さん、現地でのスケジュール管理をしていただいた松下監督、選手のコンディションを整えてくださった笹島ドクター、佐野村先生、八田さん、伊久美さん。選手のことを1番に考えてくれ、初海外でほとんどのことが初めての私でした。皆のおかげでベストな状態でプレーすることが出来たと思います。  
そして、ここまでテニスをやらせてくれた親、大事な大会前でもトルコに行かせてくれた顧問の先生、本当にありがとうございました。  
感謝だけで終わらず、この貴重な経験を次に生かし、デフリンピックにまずは出場、そこから金メダルをたくさん取れるように頑張ります。

**菰方里菜**  
所属: 四日市商業高校2年



**[成績]**

女子シングルス	ベスト16
女子ダブルス	優勝 金メダル獲得
ミックスダブルス	3位 銅メダル獲得
ユース女子シングルス	準優勝 銀メダル獲得

初めての世界大会でしたが、2週間しっかり戦いぬくことができました。  
結果は女子ダブルス優勝、ユース女子シングルス準優勝、ミックスダブルス3位でした。  
女子シングルスでは、2回戦で負けてしまいました。そこでは自分からのミスが多く、自滅する試合になってしまいました。でもこの試合があったからこそ、あとの試合ではどうしていけばいいかを考えることができ、勝つことが出来ました。  
ミックスダブルスはなんとかメダルを取ることができたので、嬉しかったです。  
2人で色々話してプレーをしたのでそれが結果に繋がったと思います。

次のデフリンピックまではあと2年あります。この2年の間が大事な時期になると思います。  
まだまだ技術が足りなかったり、体力や筋力も足りないので、トレーニングや練習を積み重ねていきたいです。  
自分のやるべき事をしっかり考えて行動していきます。デフリンピックではシングルスでも勝てるように頑張ります。  
メダル争いになると思いますが、その中でしっかり勝っていけるように強い心を身につけます。  
最後になりますが、サポートして下さった皆さん2週間本当にありがとうございました。  
皆のおかげで良いパフォーマンスでプレーする事が出来ました。また合宿などで会おうと思いますが、これからもよろしく願います。

また自分は手話が分からなかったのですが、教えて下さった皆さんありがとうございました。  
これからももっと覚えられるように頑張ります🙏  
2週間ありがとうございました！

**河邊美佐**  
所属: 日本福祉大学2年



**[成績]**

女子シングルス  
女子ダブルス  
ミックスダブルス

1回戦敗退  
準優勝 銀メダル獲得  
ベスト8

私は10月8日～10月21日にトルコ、アンタルヤで開催された第2回世界選手権で日本代表として出場しました。シングルスでは、6-4で1stセットを取りリードしていたのですが、そこから相手の調子が上がってきたこともあり、フルセットの末負けてしまい、勝ち上がることは出来ませんでした。ミックスダブルスでは、2回戦で男子シングルス優勝者のペア相手に苦戦しましたが、お互いコミュニケーションをとり、勝利を手にする事が出来ました。ですが、準々決勝のドイツ戦では、序盤に大きくリードを許してしまい、追い上げましたがあと一歩のところまでファイナルセットまで持ち込めず、ベスト4進出とはなりませんでした。女子ダブルスでは、冷静に普段通りにやってきたおかげで決勝まで行く事が出来、念願の銀メダルを獲得する事が出来ました。

今大会、日本チームが獲得したメダルの数は6個という過去最高の成績を収める事が出来ました。

これは、個人の実力もあると思います。ですが、1人だけでは取れなかったと思います。

今回は松下監督をはじめ、選手の体調管理などして下さった笹島ドクター、最高のコンディションで試合に臨めるよう準備をして下さった佐野村トレーナー、アシスタントの八田さん、手話通訳の伊久美さんたちのサポートがあったからこそ日本チームは過去最高の成績を収めることができました。

そして、これまでも合宿など様々なサポートして下さった日本ろう者テニス協会の役員の皆様には、選手のために色々準備やサポートを頂きましたことを、この場をお借りしてお礼を申し上げます。

最後に、世界選手権を通してまだ自分はやるべき事が沢山あると実感しました。

また、デフリンピックに向けて、1から積み重ねていき最高のコンディション、最高のプレーが出来るよう努力していきたいと思っています。

**相原風城**  
所属: 静岡県立浜松聴覚特別支援学校 中学部2年



**[成績]**

ユース男子シングルス 1回戦敗退(コンソレ準優勝)  
ユース男子ダブルス 1回戦敗退  
ユースミックスダブルス ベスト8

ユース部門のシングルス、ダブルス、ミックスダブルスに出場しました。

初めての世界大会の初戦は、今まで経験した事がないくらい緊張して、体が硬くなり、慣れないコートで思った動きができませんでした。焦ってミスをして、自分のプレーができないまま負けてしまいました。

体の大きな相手のオーラに飲み込まれてしまった所があったのが一番残念です。

しかし、シングルのコンソレでは、気持ちを入れ替えて挑み、丁寧に落ち着いて相手のいない所に返し続けて勝つことが出来ました。初めて1勝することが出来て本当に嬉しかったです。

世界で戦うにはもっとテニスの技術を上げて、パワーでも勝てるようにならないといけないと思いました。

その為には、サーブの確率をもっと上げて、フィジカルとメンタルを鍛えたいと思います。

たくさん応援ありがとうございました。

## 小童谷優真

所属:東京都立葛飾ろう学校高等部1年



### [成績]

ユース男子シングルス 1回戦敗退  
ユース男子ダブルス 1回戦敗退  
ユースミックスダブルス 1回戦敗退

今回、初めての世界選手権、海外で試合をする事も初めて、チームの一員になって参加した大会も初めてと、とにかく初めてだらけでした。

でも、松下監督、帯同して下さったスタッフの皆さん、日本で応援してくれた皆さんのおかげで、結果は出せませんでしたが、心身ともに支えられ2週間過ごすことが出来ました。こんなにも、テニスばかりで過ごしたのも初めての経験です。

不甲斐ない自分が情けなくも思いました。

それでも、支えてくれた事を感謝しています。

自分に足りなかったもの、沢山ありました。少しでも期待に応えたい！頑張っ結果を出したいと、強く思いました。強い意志を持って、今後頑張りたいと思います。

本当にありがとうございました。

## 松下哲也:監督

所属:(株)富士通エフサス



今大会は監督として派遣することになりました。

過去、選手として国際大会・デフリンピックで経験を生かし、選手が試合で十分に発揮できるような環境を整えることを第一として実施しました。その功により金3・銀2・銅1という歴史的快挙の結果になりました。

特に女子シングルス優勝した喜多選手は決勝相手であるドイツ選手は去年、世界デフテニスチーム大会時、1-6,2-6一方的負け、その試合から1年間、喜多選手の努力・ハード練習のおかげで急に伸び、優勝したことは大いに評価します。

そして、2人の高校生女子選手は初出場にも関わらず、十分に力を発揮し、メダル4個獲得してくれました。

男子は混合ダブルス銅メダル1個のみで終わり、寂しい結果になりました。

勝てた試合を落とした試合が3試合ぐらいあり、それらの試合を勝ったらメダル数が増加できたと思うと非常にもったいない試合だったと思います。

手話ができない選手とスタッフが居て、私とのコミュニケーションが非常に心配しました。

私が積極的に赴き、コミュニケーションを取ったお陰で少しずつ良くなり、通訳を通さなくてもコミュニケーションを取ることができるようになっていきました。

たまに必要な時はありますが、出発頃から各段に良くなったように感じました。

それだけでなく、選手・スタッフが自ら手話を覚え、私に頑張っコミュニケーションを取ってくれました。

本当に有り難かったです。

今大会の日本選手の戦いぶりやサポート体制や行動が各国から称賛され、世界デフテニス後進国から強豪国仲間入りになったと思います。しかし、ユース部門で未来、日本に強敵になる選手がたくさんいましたので、強豪国からすぐ後進国に転落する可能性がありますので、そうならないように合宿内容、個々の練習内容を今まで以上に改善し、進化させていく必要があります。

今大会は過去に例がない立派な成績を収めることができました。皆様からご支援のお陰によるものだと思います。本当にありがとうございました。

次回の国際大会は最大の目標であるデフリンピックになります。

今大会以上、成績を収めるように頑張っていきたいと思っていますので、今後も変わらずご支援をよろしくお願い致します。

#### ★良かった点

- ・初日、ホテル到着後、佐野村トレーナーによる長時間フライトでだるくなっている身体を覚醒するトレーニングを実施した
- ・本番前の練習を2日間実施したおかげで選手が調整ができ、ベストコンディションで本番に迎えたこと
- ・TD会議、私が国際手話でのコミュニケーションが可能な為、ルールなどの会議内容をしっかり把握し、選手・スタッフに十分に伝えることができた
- ・健聴者の高校・大学テニス部所属し、レベル高い環境の中で練習している選手が外国選手と打ち負けのない技術が身に付けている
- ・腹痛などの体調不良やケガになった選手にチーム帯同ドクターが居たおかげで速やかに診察・薬処方ができた
- ・佐野村トレーナー・八田トレーナーが選手の好みによってスポーツドリンク作成して配布したおかげで水分補給がしっかり取れた
- ・佐野村トレーナー・八田トレーナーが体調チェック・食事管理・体重管理を徹底的に実施し、選手の変化を見抜きサポートできた
- ・試合前にウォーミングアップ用コート確保交渉、大会委員長などにコミュニケーションをしっかりと取り、1日スケジュールを立て、スムーズに行動できた
- ・試合時間によって遅く会場に行ったり、ホテルに戻って休養を充てたりなど臨機応変対応で選手の疲労度を軽減することができ、最後まで試合を頑張れた
- ・伊久美通訳者を介し、完全なろう者である選手がドクター・トレーナーとのコミュニケーションをカバーでき、意思疎通ができた部分があった
- ・大会委員長とのコミュニケーションできているので、二人の女子選手をユース部門に出場することを勧められたので、出場することができ、メダルを獲得できた
- ・ロシアチームのディレクターと友達になったお陰でユース部門の混合ダブルスがロシア女性選手2名を日本選手と組み出場することが出来た
- ・積極的に外国選手とのコミュニケーションを懸命に取る選手がいた
- ・毎日、夜食事後、全員ミーティング実施し、コミュニケーションを図り、意思疎通を行った
- ・選手とのミーティング後、スタッフのみのミーティング実施し、1日の反省や出来事など確認を取り、意思の疎通ができた
- ・食事時、同じメンバーと食わずに色々メンバーと食事し、コミュニケーションを沢山とった
- ・他国との交流を積極的に図り、色々情報を得られた

#### ★悪かった点

- ・初めて国際大会に出場選手が十分に発揮できず
- ・シード選手に力負けする選手
- ・マッチポイントを得た状況から逆転負けした試合があった
- ・日本代表チーム一員であること自覚が足りない選手がいた
- ・キャプテンとして仕事が全うすることが出来なかった部分があった
- ・相性が合わない選手が同部屋になったことで悩む選手がいた
- ・国際手話ができない選手が多かった為、国際手話を使う外国選手とコミュニケーション取れない
- ・外国選手とのコミュニケーションを消極的な選手
- ・スタッフが業務外のこと実施
- ・スタッフ役割内容を把握していない選手が居た
- ・ホテルでの監督の部屋がスタッフ・選手の部屋と離れすぎたため、交流や過ごし方を把握できず
- ・全員ミーティング時、スタッフから選手に話しているとき、態度が悪い選手がいた